



発行責任者
社会福祉法人こころ 理事長 金子 智子
こころ編集局
諏訪市高島一丁目21番14号
TEL 0266-54-5610
FAX 0266-54-5618

ホームページ
http://www.kokoro5560.or.jp/?page_id=773

2月といえばもちろん節分。デイサービスにも鬼が登場しました。カラフル頭の鬼に大笑いしながら、新聞紙を丸めた「豆」を皆さん投げつける！投げつける！落ちている「豆」を拾いに行って、さらに投げる方もいらっしゃり、たくさん笑ってたくさん動いた「豆」まきとなりました。



今月の
壁画

は、冬

の諏訪湖をイメージしてみました。白鳥に綿をつけてもらったり、梅を切り貼りしてもらったり。併せて節分の飾りも作ってもらったため、壁一面が鮮やかな作品となりました。さらに、こころ高島のエントランスの飾りは椿の花。来所される方々が「きれいだね」「素敵ね」と思わず声を漏らしてくださる自信作です。（提供：デイサービス）



2月6日（火）節分の行事を取り組みました。二人の職員が鬼に扮して居室を回り、入所さんが金棒で鬼を追い払う「厄払い」をしていただきました。「本気」で金棒を振り回す入所さんもいらっしゃり、鬼が「まいった、まいった。」入所さんは、笑いながら節分を楽しまれていました。体を動かした後は、おやつ時間に特濃プリンを召し上がっていただきました。

（提供：特定高島）

1月17日（水）1月生まれの方の誕生会とお楽しみ会を開催しました。利用者さんに、お正月の遊びをお聞きしながら、この日のために福笑いを準備してきました。目隠しをして顔のパーツをひとつずつ置いていきますが、出来上がりは「これぞ福笑い」個性豊かな「お福

さん」が完成するたびに笑いが起きました。お正月の歌を唄い、和菓子とホットケーキを楽しい時間



（提供：ひろば小規模）



ごちそうになって、
を過ごしました。

2月6日（火）利用者さんの健康と長寿を願って、日々幸せに過ごせるように節分祭を開催しました。節分は悪いものを追い出す日、邪気祓いと一年の無病息災を願う行事です。「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまきます。今年は各階のリビングに集まり、赤鬼・青鬼さんが金棒を振りかざして現れ、4階から1階まで順に、利用者さんから豆を投げつけられると泣きながら階下へ逃げ出しては移動していきます。めでたく鬼を追い払った後、甘納豆でティータイムを過ごしました。その間は、赤鬼青鬼の話でもちきりでした。（提供：ひろば特定）



三唱にお礼の言葉を述べられました。31日（水）には、「あったかスープを味わう会」が開催されました。蕪や白菜、さつまいもの材料を「もうちょっと大きい方がよかったわ」と上手に調理してくださいました。2月3日（土）いつもの体操の後に「今日は何の日」と聞くと、なかなか「節分の日」が出てきませんでしたが、赤鬼・青鬼が登場すると「豆まき」と分っていただけました。模造紙に書かれた鬼の絵に向かって、カー杯豆を投げつけていました。豆まきの

後、リンゴを煮込んだコーンポトを召し上がっていただきました。

（提供：グループホーム）

1月29日（月）3階リビングの壁に祭られたところ神社へ初詣をしました。お賽銭に5円玉を用意して

いただき賽銭箱に入れた

ら、「宝くじの1億円が当たりますように」と職員の作った真っ赤な鳥居の前で両手を合わせてしっかりお願いしていました。2月6日（火）鬼役の職員が現れると大きな声で「鬼は外、福は内」と豆まきをした後、甘納豆を美味しそうに召し上がられていました。

（提供：ひろば特養）



コロナやインフルエンザに、負けるな。マスク・消毒・三密回避で乗り越えよう。

密閉

No

密集

No

密接

No

清拭布ご寄付のお願い

ご利用者ご家族の皆様には、日頃から「こころ」の運営にご理解ご協力を賜り、こころより御礼申し上げます。さて、介護施設におきましては、清拭布が不足してきており、お持ち寄りをお願いいたします。

社会福祉法人こころ